

The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2012年5月号 通巻41号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2012

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

タヌキのしっぽは意外に細い なかなか見る機会がないその正体



タヌキの尾の外見は太さがあるように見える。
(2010年7月、東京都23区内で撮影)



タヌキの死体の毛が抜けた尾。長さは約15cm。
(2008年、東京都23区内で撮影)

タヌキの尾というと、太くてふさふさしているイメージがあります。実際、上左の写真のようにふさふさふわふわした外見をしています。しかしそれは本当の姿なのでしょうか。

その死体の正体はタヌキ？

以前、私は謎の動物死体を観察したことがあります。なぜ謎かというと、その死体は毛がほぼ完全に抜けていたからです。脱毛の原因は長く水につかっていたからではないかと思われましたが、そんなことよりも正体をはっきりさせることの方が優先です。その動物の足指は4本、そして長い鼻面であることからイヌまたはタヌキであることは明らかでした。ところが脱毛のために体毛の様子がわからず、それ以上の判断が難しかったのです。大きさから言えばタヌキに一致しますが、同じぐらいの大きさのイヌかもしれません。私が一番困惑したのがその動物の尾でした(上右写真)。長さは約15cm。そ

の形は細長いもので、タヌキの尾らしく見えないものでした。しかし、タヌキの尾のふさふさのほとんどが毛であったとしても不思議ではありません。イヌの尾も、飼っている方はご存知でしょうが、本体は細いものです。

この動物の正体は、頭骨標本を作成してようやくタヌキだと確信できました。ということは、あの頼りない細長い尾がタヌキの尾の正体だったのです。

疥癬症なら観察できるかも

タヌキの尾の本体を直接観察できる機会は残念ながらめったにありません。もし可能性があるならば…そういう状況には巡り合いたくはありませんが、疥癬症によって脱毛症状になっている場合に目撃できるかもしれません。疥癬症とはヒゼンダニが皮膚に寄生することで発症する病気です。あまりにも皮膚がかゆくなるために、脚で体をかき、そのために脱毛してしまうのです。疥癬症だ

からといって必ずしも尾の毛が抜けてしまうわけではありませんが、可能性はあります。

尾の本体が細長いということは、タヌキは毛が長いことを示しています。これは胴体でも同じことです。冬毛のタヌキは丸々と太っているように見えますが、実際は毛が長いために太って見えるだけなのです。また、イヌのように毛が「寝て」おらず、「立って」いるためになおさら毛の長さが強調されることになります。上左の写真は夏毛の成獣です。夏毛は冬毛よりもずっと短いので、タヌキの本当の体型がよくわかります。タヌキは太っている動物ではありません。見た目にだまされてはいけません！

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの
情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>